

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-23213

⑬ Int. Cl.⁵F 16 B 19/00
5/12
19/00

識別記号

R 6916-3 J
L 7053-3 J
E 6916-3 J

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)3月11日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 考案の名称 クリッブ

⑯ 実 願 平1-84317

⑰ 出 願 平1(1989)7月18日

⑱ 考 案 者 大 森 憲 男 愛知県西春日井郡春日村大字落合字長畑1番地 豊田合成株式会社内

⑲ 出 願 人 豊田合成株式会社 愛知県西春日井郡春日町大字落合字長畑1番地

⑳ 代 理 人 弁理士 飯田 堅太郎 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

フランジ部、係止脚部及び該係止脚部とフランジ部とを連結する首部を備えて成るクリッブ本体、並びに該クリッブ本体から延設された係止片を具備してなり、

被取付け部材と線膨張係数の異なる材料で形成された長尺物において、前記被取付け部材に対向する面へ下記要件(ア)～(エ)、

(ア) 後記凸部は箱形状であり、前記クリッブのフランジ部を収納できる、

(イ) 該凸部の上面には、前記クリッブの首部を前記長尺物の長手方向へ移動可能に挿通する上部開口部が形成されている、

(ウ) 該凸部において、前記長尺物の長手方向の一方には、前記上部開口部へ連通し、前記フランジ部を挿通可能な側部開口部が形成されている、

(エ) 前記開口部に対向する側壁には、前記係止片を挿通する係止孔が形成されている、

を備えて形成された凸部に前記フランジ部を組み付け、前記被取付け部材の挿着孔へ前記係止脚部を挿着して、前記長尺物を前記被取付け部材へ取り付ける、ばね弾性を有する材料で形成されたクリッブであつて、

前記係止片が、

前記フランジ部から前記長尺物の長手方向へ延出され、前記凸部の係止孔の外周縁に係合する第1つめ部を有する基部と、

該基部から延出されて前記クリッブ本体側へ折

り返され、自由端を持ったアーム部と、

該アーム部において、前記第1つめ部より前記クリッブ本体側の位置に形成され、前記係止孔の周縁を挟む第2つめ部と、

を備えてなり、

前記クリッブを前記凸部へ組み付けた状態で、前記アーム部は前記係止孔の周縁へ圧接されるとともに、前記第2つめ部が前記係止孔の周縁を挟み、前記被取付け部材と前記長尺物とが相互に長手方向へずれたときには、前記基部及び／又は前記アーム部が変形して、前記クリッブ本体が前記凸部内で移動する

構成を特徴とするクリッブ。

図面の簡単な説明

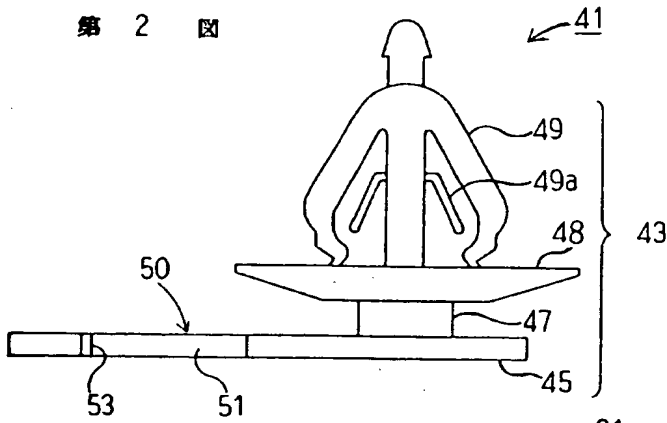
第1図はこの考案の実施例のクリッブ41の斜視図、第2図は同正面図、第3図は同底面図、第4図は同左側面図、第5図は同クリッブ41の取付け状態を示す断面図、第6図は第5図におけるVI-VI矢視線断面図、第7図はクリッブ本体43(ボディ)に対して凸部21(ガーニツシュ)が右方向にずれた状態を示すVI-VI矢視線断面図、第8図はクリッブ本体43(ボディ)に対して凸部21(ガーニツシュ)が左方向にずれた状態を示すVI-VI矢視線断面図、第9図は変形様態のアーム部55aもつたクリッブの底面図、第10図は従来例のクリッブ1の斜視図、第11図は同クリッブ1の取付け状態を示す断面図。

1, 41…クリッブ、3, 43…クリッブ本体、5, 45…フランジ部、7, 47…首部、

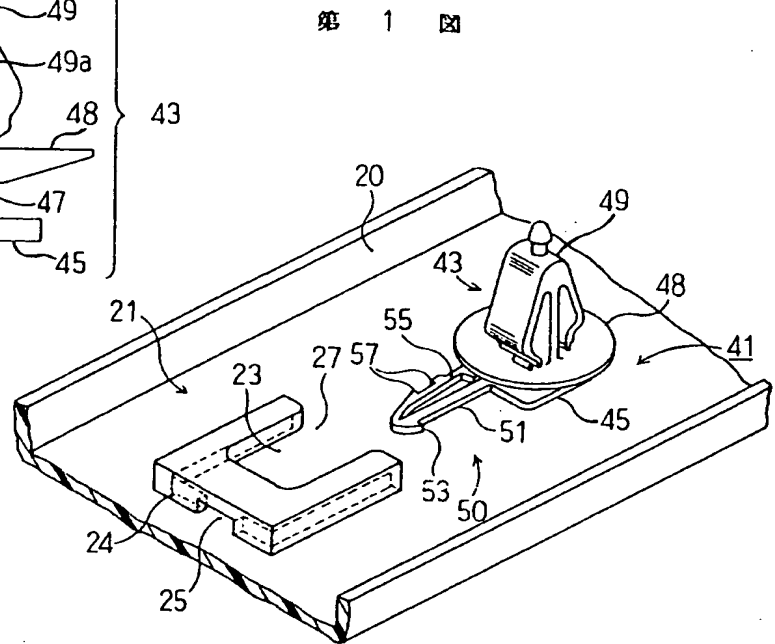
9, 49...係止脚部、10, 50...係止片、11, 53...第1つめ部、20...ガーニッシュ(長尺物)、21...凸部、23...上部開口部、24...側壁、25...係止孔、27...側部開口部、30...

ボディ(被取付け部材)、31...挿着孔、51...基部、55...アーム部、57...第2つめ部、58...自由端。

第 2 図

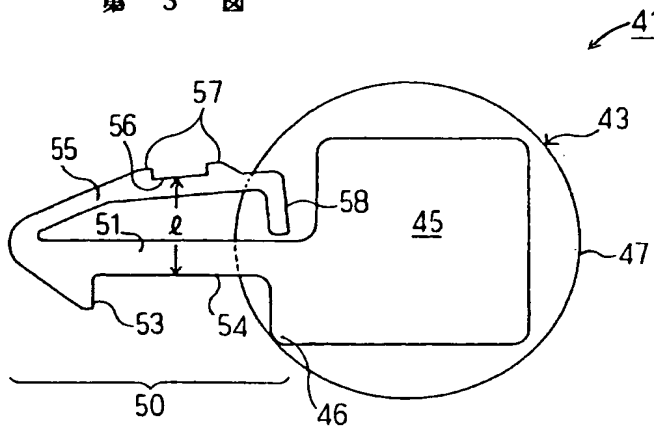


第 1 図

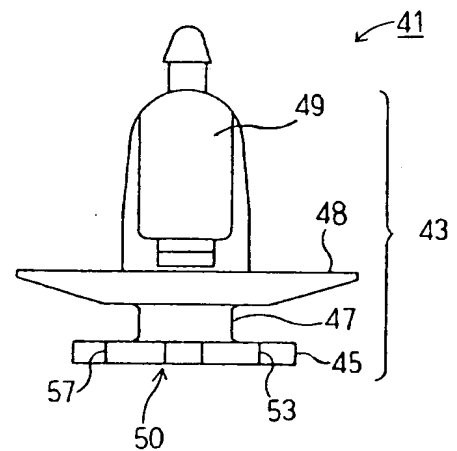


- 1, 41...クリップ本体
- 3, 43...クリップ本体
- 5, 45...フランジ部
- 7, 47...首部
- 9, 49...係止脚部
- 10, 50...係止片
- 11, 53...第1つめ部
- 20...ガーニッシュ(長尺物)
- 21...凸部
- 23...上部開口部
- 24...側壁
- 25...係止孔
- 27...側部開口部
- 30...ボディ(被取付け部材)
- 31...挿着孔
- 51...基部
- 55...アーム部
- 57...第2つめ部
- 58...自由端

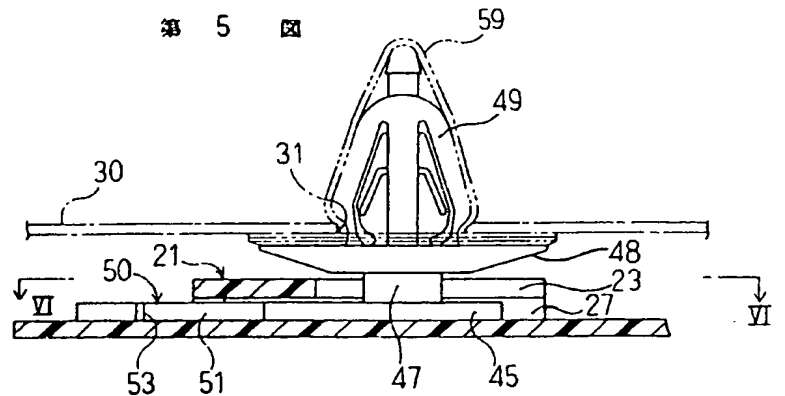
第 3 図



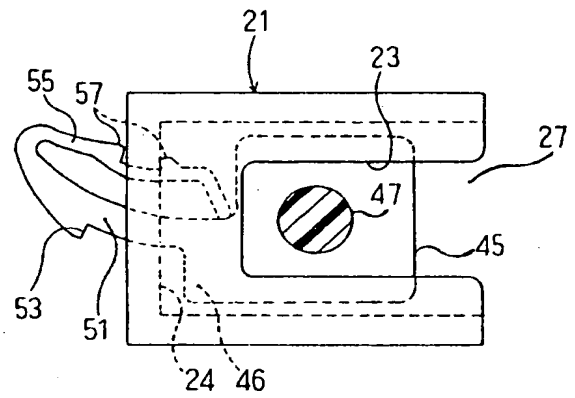
第 4 図



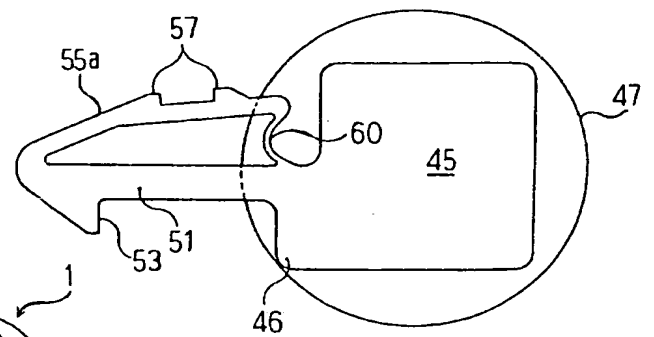
第 5 図



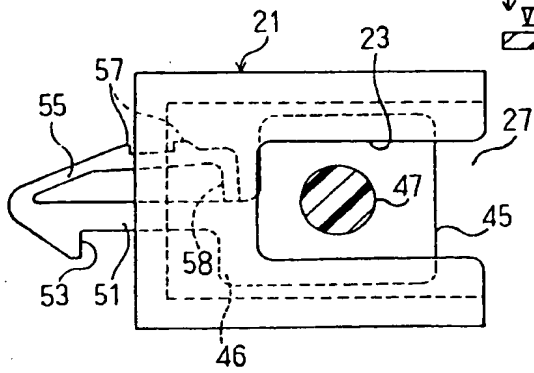
第 7 図



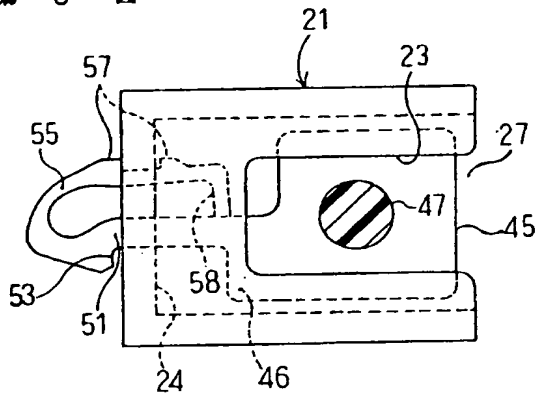
第 9 図



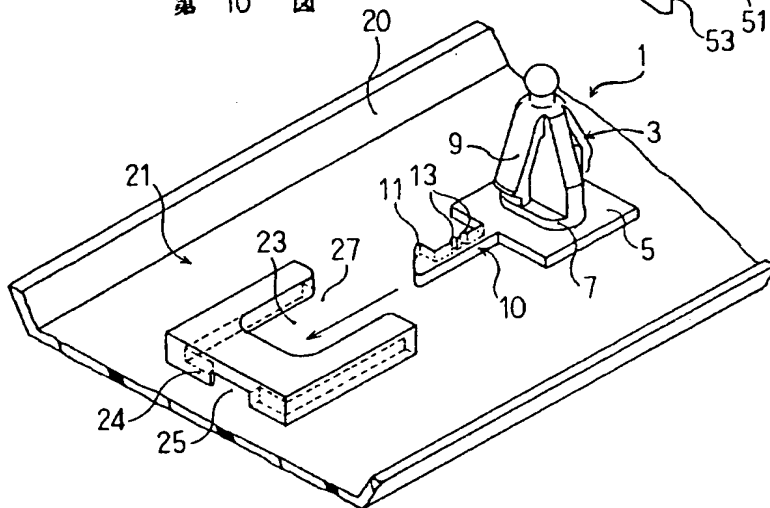
第 6 図



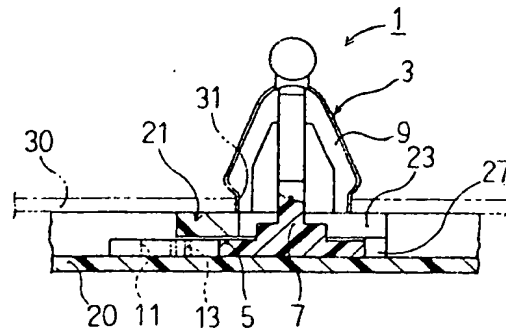
第 8 図



第 10 図



第 11 図



補正 平 2. 1.18

実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑤実用新案登録請求の範囲

フランジ部、係止脚部及び該係止脚部とフランジ部とを連結する首部を備えて成るクリップ本体、並びに該クリップ本体から延設された係止片を具備してなり、

被取付け部材と線膨張係数の異なる材料で形成された長尺物において、前記被取付け部材に対向する面へ下記要件(ア)～(エ)、

- (ア) 後記凸部は箱形状であり、前記クリップのフランジ部を収納できる、
- (イ) 該凸部の上面には、前記クリップの首部を前記長尺物の長手方向へ移動可能に挿通する上部開口部が形成されている、
- (ウ) 該凸部において、前記長尺物の長手方向の一方には、前記上部開口部へ連通し、前記フランジ部を挿通可能な側部開口部が形成されている、
- (エ) 前記側部開口部に対向する側壁には、前記係止片を挿通する係止孔が形成されている、を備えて形成された凸部に前記フランジ部を組み

付け、前記被取付け部材の挿着孔へ前記係止脚部を挿着して、前記長尺物を前記被取付け部材へ取り付ける、ばね弾性を有する材料で形成されたクリップであつて、

前記係止片が、

前記フランジ部から前記長尺物の長手方向へ延出され、前記凸部の係止孔の外周縁に係合する第1つめ部を有する基部と、

該基部から延出されて前記クリップ本体側へ折り返され、自由端を持ったアーム部と、

該アーム部において、前記第1つめ部より前記クリップ本体側の位置に形成され、前記係止孔の周縁を挟む第2つめ部と、を備えてなり、

前記クリップを前記凸部へ組み付けた状態で、前記アーム部は前記係止孔の周縁へ圧接されるとともに、前記第2つめ部が前記係止孔の周縁を挟み、前記被取付け部材と前記長尺物とが相互に長手方向へずれたときには、前記基部及び／又は前記アーム部が変形して、前記クリップ本体が前記凸部内で移動する

構成を特徴とするクリップ。